まんがでわかる!

メディカルスタッフの仕事❽

お口から全身を守る

歯科衛生士

赤ちゃんから高齢者まで
食べる幸せを支援する

チーム医療推進協議会

まんがでわかる！メディカルスタッフの仕事 ❽

お口から全身を守る

歯科衛生士

赤ちゃんから高齢者まで
食べる幸せを支援する

監修 チーム医療推進協議会・公益社団法人 日本歯科衛生士会
マンガ 田川　滋

もくじ

まんが 4～31 まんが「歯科衛生士」

コラム 32～33 歯科衛生士 活躍の場所

34～35 歯科衛生士って どんな仕事？
お口の健康づくりで、全身の健康をサポートする
歯科衛生士が行う3つの業務
先輩に話を聞きました

36 歯科衛生士になるには？
歯科衛生士は増加しています！

37 食べる幸せを守るため、地域での活躍が期待される
多職種との連携による「チーム医療」がより重要に

38 「チーム医療」って何？
チーム医療推進協議会とは？

39 チーム医療推進協議会が目指していること

ガチャ
ただいまー お母さん！

あー…
おかえり…

…？
テンション低いな…

どうしたの 元気ないね
あ…
う～ん 実はね…

このあいだの健康診断で再検査になったじゃない
うん

今日病院に行ったら糖尿病だって…
えっ！

そんなに悪くはないらしいのただ…
薬を飲むの？

薬はないのよ バランスのいい食事と運動が大切なんだって
次に病院に行ったときに詳しく教えてもらうのよ

ふふん
やっぱりね～ お母さんだいぶ太めだしね～

あれっ リアクションないの…？
……
そうだ それとね

歯医者さんに行ってくださいって！
は？

歯医者さん？
なんで？？
……
えーとね…

歯をきれいにすると糖尿病がよくなるから…
それだけー？

しっかりしてよちゃんと聞いたの？
自分の体でしょ！
うん…

まあまあとにかく予約をとって歯医者に行ってみようかな…
……

たしか糖尿病って内臓の病気でしょ…
歯は関係ないじゃん
おかしくない…？

そうだ！

お母さん次に病院に行くときついていっていい？
えっ
どうして？

えーとほらわたし医療系の仕事に興味あるんだよね～
でも実際に現場を見ることってないじゃない
いい機会だから行ってみたいなって！

そうなのね
そろそろ進路のことも考えないとね
うんいいわよ！

お母さんウソをついてごめん…
お母さんひとりじゃ心配だし…

私がちゃんと説明を聞かなきゃ…！

歯科衛生士　活躍の場所

歯科診療所

歯科衛生士は、歯周病の治療やむし歯予防も担当しています。近年の研究から、歯・口と全身の健康との関連性が明らかとなり、歯科衛生士は、全身の健康を守るという重要な役割を果たしているのです。最近では、通院できない患者さんの自宅や病院、施設などにも訪問し、口腔の健康管理を行う機会が増えています。

歯周病の治療（専用の器具や超音波スケーラーを使った歯石除去など）を行う

生えてきた永久歯を守るために歯ブラシの当て方の実地指導

病　院

入院患者の口腔清掃法を担当看護師に伝える

病院では、主に一般の診療所では対応が難しい患者さんの治療が行われています。病院で働く歯科衛生士は、その診療補助のほかにも、入院患者さんの口腔の健康管理を行っています。最近では、入院患者さんに口腔の健康管理を行うことで、本来の治療の効果が上がり、在院日数が短くなることが明らかになり、病院での歯科衛生士の役割が、期待されています。

介護施設

介護保険施設において職員に対し口腔清掃方法の助言・指導

介護が必要な高齢者が入所する、特別養護老人ホームや介護老人保健施設などで、地域の歯科診療所と連携して、高齢者の口腔の健康管理を行う歯科衛生士が増えています。
歯科医師と歯科衛生士が協力して行う口腔の健康管理は、美味しく安全に食べる支援だけではなく命を失うこともある誤嚥性肺炎の予防、フレイル（加齢に伴う虚弱）や転倒防止、認知症の予防にも貢献しています。

保健所・保健センター

地域の人々を対象に、歯・口の健康づくりに関する歯科保健指導や健康教育を行っています。

教育機関

大学・短期大学・専門学校等で歯科衛生領域の専門教育を行っています。

企　業

歯科衛生士の知識を生かして歯ブラシや歯磨剤等の口腔ケア製品の企画・開発や普及啓発を行っています。

小学校で手作りの教材を用いて歯と口の健康教育を行う

口腔内写真撮影の実技指導

歯科衛生士って　どんな仕事？

お口の健康づくりで、全身の健康をサポートする

歯と口腔（口）の健康は、「自分の歯でおいしく食べる」、「楽しく会話する」など、健康で生き生きした生活を送るための基本です。最近、多くの調査研究から、「歯と口腔の健康」が全身の健康と深い関係があることが明らかになり、歯科衛生士の役割が注目されています。

歯科衛生士は、人々の歯と口腔の健康づくりをサポートする国家資格の専門職です。法律で三つの業務が定められていて、それぞれ専門性の高い知識と技術が必要とされます。歯科衛生士は、生涯にわたって人の役に立つことができる仕事です。

歯科衛生士が行う3つの業務

●予防処置（一生自分の歯を健康に保つためのサポート）

歯を失う原因の90%が「むし歯」と「歯周病」です。歯科衛生士は、むし歯予防のためにフッ化物などの薬物を塗ったり、歯周病の予防のために、家庭でのプラークコントロールを支援したり、歯石などの汚れを専門的な技術によって除去します。

歯周病を予防するため、歯石を除去する

●歯科診療補助

歯科診療は、歯科医師を中心とした「チーム医療」で行われます。歯科衛生士は、歯科医師の診療の補助だけでなく、歯科医師の指示の下で、歯周病の治療をはじめ、診療補助としての歯科医療を幅広く担当します。その一つが、摂食嚥下障害に対する咀嚼や飲み込みの訓練です。

歯周外科治療のサポートをする

●歯科保健指導

むし歯や歯周病は生活習慣病です。その予防のために歯科衛生士は、生活習慣を改善しよりよいセルフケアを支援するための歯科保健指導を行います。最近では、高齢者や要介護者の咀嚼や飲み込む力を強くするための指導訓練も担当しています。

唾液の分泌を促す「唾液腺マッサージ」

先輩に話を聞きました

生涯活躍できる歯科衛生士

私が勤務している財団では、乳幼児から高齢者まで、それぞれに合わせた内容で、歯と口の健康を守るために活動を行っています。地域や企業での啓発、また歯科診療所では予防や診療の補助だけでなく調査研究なども実施しています。このように、活動の幅が広く、さまざまな場面で人々の健康の役に立つことが出来るのが歯科衛生士の特徴であり、魅力でもあります。口は、「食べる」「話す」「笑う」など生活していく上で大切な役割を果たしており、歯と口の健康を通して、人々と関われる職業としてやりがいを感じ、一生の仕事であると考えています。

貨泉朋香
公益財団法人ライオン歯科衛生研究所

口腔機能管理でがん治療の質を高める

荒井安希
徳島大学病院
診療支援部

近年、歯科医師・歯科衛生士による口腔機能管理が注目されています。がん患者の口を健全に保つことで、しっかりと食べて体力を維持し、口腔細菌による肺炎リスクを下げ、化学療法による口のトラブルを軽減し、在院日数の短縮などに貢献することが報告されているからです。このため、がん治療中はとくに口腔を清潔に保ち、しっかり食事ができる環境を保つことに努力しています。さらに、退院後も継続した歯科治療が受けられるように地域の歯科医院との連携を強化しています。

病院で歯と口の健康を通して人々を元気にする

現在、リハビリテーション病院で歯科衛生士として勤務しています。一般の歯科医院とは違い、歯科治療に関わることは少なく、入院患者の口腔機能管理を多職種と連携して行っています。口からしっかり「食べる」ことで、栄養をとり体力や抵抗力を高めることができます。また、「話す」ことでコミュニケーションをとり楽しい生活を送ることができます。食べること、話すこと、笑うことの全ては口の健康と関わっています。歯科衛生士は、歯と口の健康を通して人々を元気する職業です。

小山田貴子
医療法人渓仁会 札幌渓仁会
リハビリテーション病院

歯科衛生士になるには？

高等学校を卒業後、歯科衛生士養成課程のある専門学校、短期大学、大学を卒業することで、国家試験の受験資格が得られます。その後、毎年3月初旬に実施される国家試験に合格すると、歯科衛生士免許証が与えられます。現在、4年制大学も増加していて、大学院課程もあり、研究者になる道も開かれてきました。

歯科衛生士は増加しています！

歯科衛生士が誕生して約70年。
今後、ますます歯科衛生士の活躍の場が広がっていきます。

食べる幸せを守るため、地域での活躍が期待される

今後、歯科衛生士の活躍の場は歯科診療室から地域へと広がります。健康なときも、病気になったときも、介護が必要になったときも、歯と口の健康を通して、生活習慣病を予防して、口から食べる幸せを守るために、歯科衛生士の活躍が期待されているのです。

訪問で食べる幸せ、生きる喜びを支える歯科衛生士

篠原 弓月
口腔栄養サポートチーム
レインボー

歯科医院への通院が困難な患者の自宅や施設に歯科医師とともに訪問して、口腔健康管理を行っています。目的は、多職種と協働して、在宅療養者の生きる喜びを最期まで支えるためです。口腔の健康を守ることで美味しく食べられるだけでなく、しっかり「食べること」や「呼吸をすること」が可能になるので元気に生活できます。また「話をすること」「笑顔を作ること」も可能になって、良好なコミュニケーションを楽しむことができるのです。

多職種との連携による「チーム医療」がより重要に

看護師、薬剤師とともに入院患者の回診を行う

回診後、多職種で症例検討をする

◂◂◂ 「チーム医療」って何？　詳しくは次のページへ

「チーム医療」って何？

病院では、様々な職種のメディカルスタッフ（医療専門職）が働いています。その人たちが連携して、専門スキルを発揮しながら治療やケアをすることを「チーム医療」と呼びます。

「チーム医療」を推進する
チーム医療推進協議会とは？

チーム医療を推進するために平成21年にスタート。
現在では医療関係17職能団体が参加しています。

- 日本医療社会福祉協会
- 日本医療リンパドレナージ協会
- 日本栄養士会
- 日本看護協会
- 日本義肢装具士協会
- 日本救急救命士協会
- 日本言語聴覚士協会
- 日本作業療法士協会
- 日本歯科衛生士会
- 日本視能訓練士協会
- 日本診療情報管理士会
- 日本診療放射線技師会
- 日本精神保健福祉士協会
- 日本理学療法士協会
- 日本臨床衛生検査技師会
- 日本臨床細胞学会細胞検査士会
- 日本臨床心理士会

詳しくは各団体のHPをご覧ください

チーム医療推進協議会が目指していること

今後、各メディカルスタッフの専門的知識や技術の進歩を土台としながら、各職種が連携して「チーム医療」を実践することで、患者さんが中心の医療を推進する必要があります。そのために次の4つを目指しています。

1 患者中心の医療の推進

患者さんに尊厳をもって接します。患者さんが置かれている状況やその考え方を配慮し、患者さんとご家族の意向を反映した医療を提供します。

2 高いレベルの専門性の推進

専門職として、高いレベルの知識と技術の習得に努めます。専門的技術の標準化を進め、安全で効果的な業務を行います。

3 情報共有の推進

常にチームとしての方針を共有するため、カンファレンス等に積極的に参加します。業務を適切に記録・保管管理して、情報の漏えいに最大の注意を払います。

4 チーム医療の推進

他のメディカルスタッフの専門性に敬意を払うと同時に業務にも関心をもち、チームの統合性を目指します。自分の専門性を伸ばすだけでなく、協働意識も育てます。

あなたも メディカルスタッフを目指して、チームの輪に入りませんか！

監　修

チーム医療推進協議会
公益社団法人 日本歯科衛生士会

編集協力者

武井 典子　公益社団法人 日本歯科衛生士会 会長
上田 和美　公益社団法人 日本歯科衛生士会 副会長
茂木 美保　公益社団法人 日本歯科衛生士会 専務理事
武藤 智美　公益社団法人 日本歯科衛生士会 常務理事
井出　桃　公益社団法人 日本歯科衛生士会 常務理事
伊藤 眞知子　公益社団法人 日本歯科衛生士会 理事
小森 朋栄　公益社団法人 日本歯科衛生士会 診療所委員会委員
深町 厚子　公益社団法人 日本歯科衛生士会 広報委員会委員
金澤 紀子　公益社団法人 日本歯科衛生士会 顧問
西田　亙　にしだわたる糖尿病内科

まんが

田川　滋

原作

田川　滋
五木田 勉

まんがでわかる メディカルスタッフ の仕事 ⑧
お口から全身を守る 歯科衛生士
赤ちゃんから高齢者まで
食べる幸せを支援する

発行日　2018 年 4 月
発行所　チーム医療推進協議会
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ケ谷 3－8－5
公益社団法人日本理学療法士協会内

編　集　五木田 勉
表紙デザイン・DTP　林　美江（tantan design）
印刷・製本　株式会社キタジマ

無断複写・転載は禁じます。